

## 国語科学習指導案

令和7年7月28日(月) 1限

1 単元(題材)名 向田邦子さんの思いに注目して父へ手紙を書こう

### 2 目標

- ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 [知識及び技能] (3)エ
- ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)エ
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

### 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり 深めたりする読書に生かしている。	①観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	①言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

### 4 指導にあたって

#### 教材観

「字のない葉書」は直接的な言葉で父という人物を表現している部分と行動描写などを用いて間接的に表現している部分がある。この表現の違いに気づくことで、筆者が父のことをどう思っていたのか、どのような文体の作品であるのか、作品の細部を読み取る力をつけることができる。これらの力は今後、物語文を読む時に活用できる力である。

また、自分のことを書く随筆という点では、架空の出来事を書く小説や自分だけが読むものとして書かれる日記との違いに触れることで、筆者が読者に伝えたいことがあるということに気づくことができる。作品がどのようなジャンルであるのかを考えることは、筆者の意図を読み取る力につながる。

#### 指導観

既習事項が多く含まれる教材であるため、場面の展開や描写について復習しながら学習を進めていきたい。また、父と娘という関係性や筆者の表現の仕方を踏まえて、筆者が父のことをどう思っていたのか、筆者の意図や心情を読み取れるようにしていきたい。

次	学習活動と児童生徒の思考の流れ(・)	時数	指導(・)と評価(※)
一	<p>〈どんな葉書がでてくるかな?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名にある「葉書」から本時の課題を確認する。</li> <li>・課題について考えながら「字のない葉書」を読む。</li> <li>・この作品のジャンルは何か考える。</li> <li>・誰が出てきたのか相関図にまとめる。</li> <li>・前半と後半がどのような場面かを考える。</li> <li>・前半と後半に出てきた手紙と葉書は、「いつ・だれが・だれに宛てた・どのような」手紙もしくは葉書かをまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私が女学校1年で初めて親元を離れたとき、父が私に宛てた私に対する優しさがあふれた手紙。</li> <li>・終戦の年、妹が父に宛てた元気かどうかを伝える字のない葉書。</li> </ul> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の内容や構成を理解するために、範読する。</li> <li>・作品のジャンルを捉えるために既習事項をTV画面に提示する。</li> <li>・誰が書いた手紙・葉書であるのかを捉えるために、相関図を書く。</li> <li>・どのような場面であるかを考えるために、これまでの学習を振り返る。</li> </ul> <p>※場面ごとに登場した異なる手紙・葉書について、ノートにまとめ、2つの父に関する思い出が整理されている。 【思考・判断・表現】(ノートのまとめ)</p>
二	<p>〈生前の父を昔の私はどのような人だと思っていたらろう?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場面構成であったか振り返り、昔の私の視点で書いてある場面はどちらかを表現に注目して確認する。</li> <li>・後半の場面で父の人柄がわかる描写や表現を読み取る。</li> <li>・オクリンクプラスで父がどのような人であるかを全体で共有する。</li> <li>・必要な言葉を用いて、ノートにまとめを書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疎開先から帰ってきた妹を抱きしめて泣くくらい家族想いである人。</li> <li>・葉書を妹に送らせるほど、家族のことを心配している人。</li> <li>・妹の葉書の話なので、客観的な表現ではあるが、父に対して家族想いである良い印象を持っている。</li> </ul> </div> <p>〈亡くなった父を今の私はどう思っているだろうか?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のジャンルが随筆であることを振り返り、現在の私目線であることを確認する。</li> <li>・どのような場面構成であったか振り返り、今の私の視点で書いてある場面はどちら</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写を読み取るために、これまでの学習を復習する。 (行動描写/心情描写/情景描写)</li> <li>・父の人柄を読み取る時、描写が多いことに気づくために、どこから読み取ったのかを必ず書くように伝える。</li> <li>・クラス全体での共有を効率よく行い、いろんな言葉を用いてまとめを書くために、オクリンクプラスを用いる。</li> </ul> <p>※筆者の表現の仕方から昔の私から見た父の人物像を読み取り、ノートにまとめることができている。 【思考・判断・表現】(ノートのまとめ)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のジャンルを振り返るために、他のジャンルとも比較し、随筆がどのようなジャンルかを確認する。</li> <li>・父の人柄を読み取る時、主観的な表現が多いことに気づくために、</li> </ul>

(様式 01)

<p>かを表現に注目して確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>前半と後半の表現の違いに注目し、なぜ前半は直接的な表現で、後半は描写が多いのかを考える。</li></ul> <div data-bbox="239 331 802 593" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>罵声やげんこつが日常であった父だが、今振り返ると、私に対する手紙には威厳と愛情があふれていたり、疎開先から帰ってきた妹を泣きながら抱きしめたりと、家族のことを大切に想っていた父でもあったことを懐かしく思っている。</li></ul></div>	<p>こから読み取ったのかを必ず書くように伝える。</p> <p>※筆者の表現の仕方から昔の私から見た父の人物像を読み取り、ノートにまとめることができている。 【思考・判断・表現】(ノートのまとめ)</p>
<p>〈今の私が父に対して手紙を書くなら、どんな手紙になるだろう?〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>今の私が父に対してどう思っていたか、前時のまとめを確認する。</li><li>条件を満たす手紙を書く。</li></ul> <p>(条件)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①手紙の書き方を用いる。</li><li>②教科書にはないエピソードを書く。 ただし、心情をふまえて書く。</li><li>③私が父に対して今、思っていることを手紙にする。</li></ol> <div data-bbox="239 1064 802 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>拝啓</p><p>お父さん、最近私は昔のことを思い出します。罵声やげんこつが日常だったお父さんでしたが、よくよく思い出してみると、妹に宛名だけを書いた葉書を託し、妹のことを常に心配していたり、私にくれた手紙には威厳と愛情があふれていたり、とても家族想いであったことを懐かしく思います。私が初めて親元を離れたときも大反対され、怒鳴られた記憶があります。それもお父さんなりに心配していたのですね。お父さんと同じくらいの歳になった今だからわかります。あの葉書はどこに行ってしまったのでしょうか。もしあるのであれば、久しぶりに威厳と愛情にあふれたお父さんの字をもう一度見たいです。もちろん嫌なこともされましたが、自慢のお父さんです。お父さんの娘で良かったです。ありがとう。</p><p style="text-align: right;">敬具</p><p>八月二十八日</p><p style="text-align: right;">向田邦子</p><p>威厳と愛情にあふれたお父さん</p></div>	<ul style="list-style-type: none"><li>全員が書き始められるように、TV画面に手紙のモデルを掲示する。</li><li>条件が全体に共有できるように、黒板に書く。</li></ul> <p>※向田邦子さんの表現に注目して父へ手紙を書いている。</p> <p>【思考・判断・表現】(手紙のワークシート)</p>

(様式 01)

6 本時の学習

(1) ねらい

文章の構成や表現の効果から、筆者の父に対する心情を手紙にまとめることができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕

(2) 学習過程

学習活動と児童生徒の思考の流れ（・）	時間	指導（・）と評価（※）
<p>1 これまでの授業内容を振り返る。 ・今の私が父に対してどう思っていたか、前時のまとめを確認する。</p>	5	
<p>2 本時の課題をつかむ 〈今の私が父に対して手紙を書いたら、どんな手紙になるだろう？〉 ・本時の目標を確認し、授業の流れを理解する。</p>	5	
<p>3 黒板に掲示された手紙の条件を確認する。 ・手紙の書き方を用いるんだな。 ・心情をふまえて教科書にはないエピソードを書くんだな。 ・私が父に対して今、思っていることを手紙にするんだな。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が書き始められるように、TV画面に手紙のモデルを掲示する。</li> <li>・条件が全体に共有できるように、黒板に書く。</li> </ul>
<p>4 手紙のワークシートにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>拝啓</p> <p>お父さん、最近私は昔のことを思い出します。罵声やげんこつが日常だったお父さんでしたが、よくよく思い出してみると、妹に宛名だけを書いた葉書を託し、妹のことを常に心配していたり、私にくれた手紙には威厳と愛情があふれていたり、とても家族想いであったことを懐かしく思います。私が初めて親元を離れたときも大反対され、怒鳴られた記憶があります。それもお父さんなりに心配していたのですね。お父さんと同じくらいの歳になった今だからわかります。あの葉書はどこに行ってしまったのでしょうか。もしあるのであれば、久しぶりに威厳と愛情にあふれたお父さんの字をもう一度見たいです。もちろん嫌なこともされましたが、自慢のお父さんです。お父さんの娘で良かったです。ありがとう。</p> <p style="text-align: right;">敬具</p> <p>八月二十八日</p> <p style="text-align: right;">向田邦子</p> <p>威厳と愛情にあふれたお父さん</p> </div>	25	<p>※向田邦子さんの表現に注目して、父への思いを読み取り、手紙を書いている。 【思考・判断・表現】 (手紙のワークシート)記</p>
<p>6 振り返る（適用問題をする） ・ノートにこの単元で学んだことをまとめる。</p>	10	

(様式 01)

--	--	--

(3) 本時の授業の工夫点

- ・筆者の表現の仕方から心情を読み取り、題名に関連付けた手紙を用いてまとめる点。
- ・思いを込める手紙という媒体を用いてまとめることで、筆者の思いをより具体的に表現することができる点。

## 7 板書計画

TV画面に手紙のモデル	<p>① 手紙の書き方を用いる。</p> <p>② 教科書にはないエピソードを書く。ただし、心情をふまえて書く。</p> <p>③ 私が父に対して今、思っていることを手紙にする。</p>	今の私が父に対して手紙を書くなら、どんな手紙になるだろう？
-------------	---	-------------------------------